

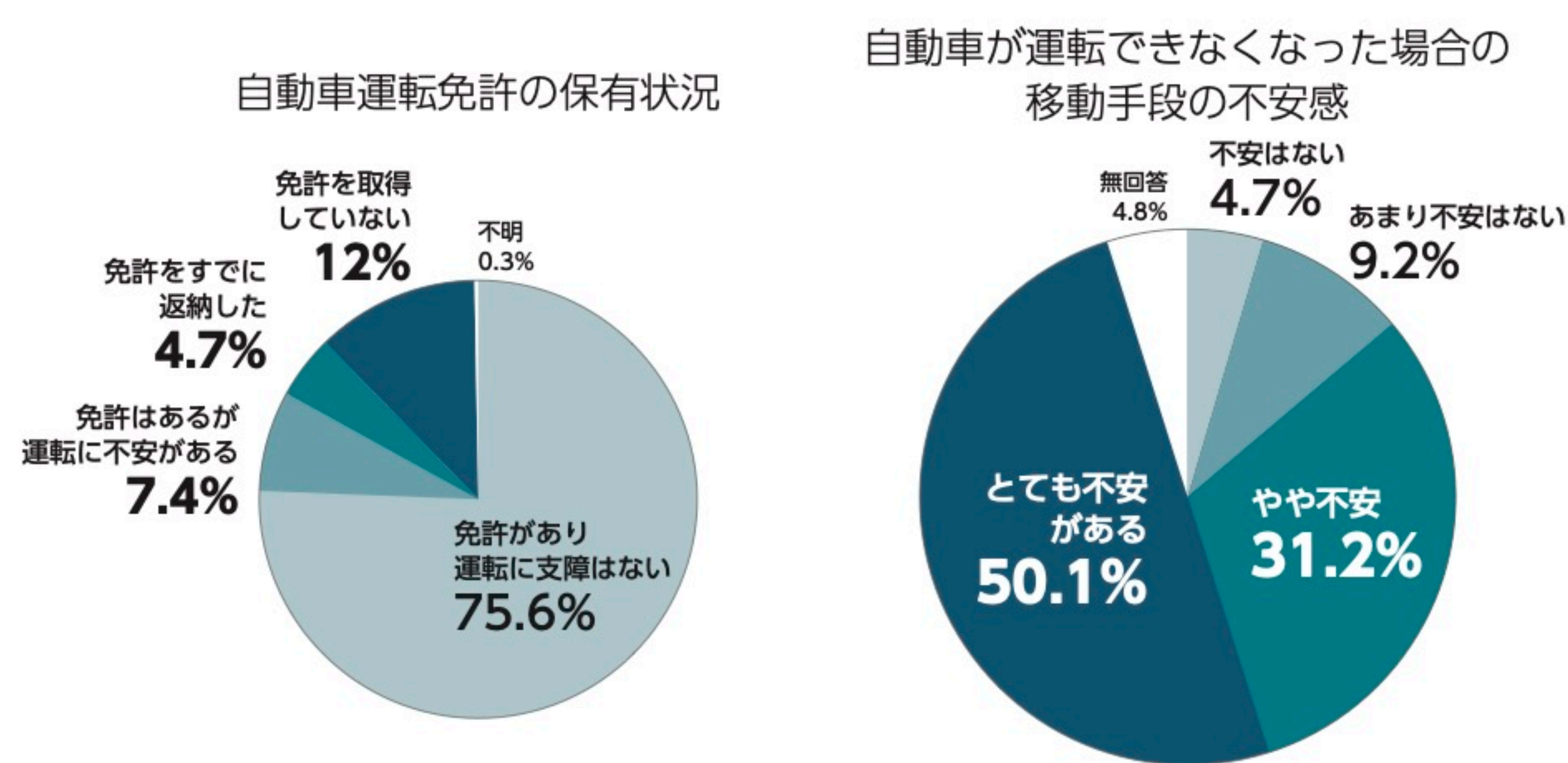
自家用車をフィーダーに活用した 地方での公共交通誘導策 ～山口市の「置くとバス駐車場」

発表者 鈴木文彦 交通ジャーナリスト
桑原拓也 山口市交通政策課



背景

- ◆ 農山村では農業従事などの必要により自家用車を手放したり免許返納したりしにくい
- ◆ しかし高齢になると運転への不安や自家用車を運転できなくなったときの移動の不安が大きい



高齢者の自動車運転は不安が大きい～市民アンケート（2023 交通政策課）より

- ◆ とはいえ既存の公共交通サービスをさらにきめ細かく提供することは難しい
- ◆ 全国的には新たにオンデマンド交通などを導入する動きが盛んだが、散在する小規模な需要に対して新たな仕組みを公費を投じて導入することは現実的ではない

山口市「置くとバス駐車場」とは

- ◆ 域内の移動には自家用車も活用し、自家用車を公共交通のフィーダーに位置づける
- ◆ 公共交通が一定程度サービスを提供できているいわゆる基幹ルートに沿線のバス停に数台規模の駐車スペースを設置
- ◆ その周辺の集落からバス停までの短い距離（日常の行動範囲）は軽トラで出てもらい、町へはバス停からバスに乗り換えてもらう～地方型小規模「パーク＆ライド」

山口市「置くとバス駐車場」の概要

設置場所	最寄りバス停	駐車台数	現状
防長交通堀駐在	防長交通「堀」	8	常時4台程度の駐車がある
名田島南総合センター	防長交通「南総合センター」	5	区画以外にも駐車スペースがあるので確認できていない
鑄銭司地域交流センター	JR山陽線四辻駅 防長交通「四辻駅入口」	10	登録者40人／ヘビーユーザーあり
徳地やまぐちサッカー交流広場	防長交通「やまぐちサッカー交流広場」	同駐車場内 全て利用可	最も新しいので実績未確認

実績と効果

- ◆ 2023年9月現在4カ所に設置～まだこのスタイルの移動習慣がないので急速な普及ではないが、徐々に利用が増え定着しつつある
- ◆ 利用者の家族から「お父さんが町まで車を運転していくのは心配だったけど、そのバス停までなら安心」といった声が聞こえてきた
- ◆ バスに乗る習慣ができれば、いずれ免許返納したときの公共交通利用の「練習」「訓練」になる
- ◆ 地域住民との懇談の中で「置くとバス駐車場」の提案は受けがよい～具体的にどこ（誰）の土地を使って…などの話が出る
- ◆ これまでのコミュニティタクシー・グループタクシー制度とあわせて、ドアツードアのフィーダーに自家用車を加えることにより、地域の移動手段を確保し地域の安全・安心につながった

現地写真



「置くとバス駐車場」に設置する共通看板 堀では防府・徳山・山口へのバスが発着



バス停目の前の緑の枠が「置くとバス駐車場」の駐車位置 常に2～4台の利用がある